

イヤイヤ期ではなく自己主張期

1歳児はそろそろ自己主張が強くなり対応に苦労されていることと思います。ですが自己主張できることは、発達段階からすると、意思ややる気が育っている証拠で、とても大切なことです。

まだ言葉でうまく伝えられなかったり、やりたいことが上手にできなかったりしたときに癩癩を起こすので、言葉で言えるようになると癩癩が減ってきたり、大人が気持ちを受け止めてあげると収まることがあります。



【言葉の発達には3つの要素があります。】

- 言える言葉を噴射
- タンクにわかる言葉をいっぱい溜めて
- コミュニケーション意欲が発射したい心

【そのために必要な能力は】

- 聴力、聞き分ける力
- 知的能力
- 記憶
- 注意を向ける力
- 共同注視
- 模倣（動作の模倣）
- 舌や唇を使って発声・発語すること、伝えようとする意欲



普段の生活や遊びの中で、いかに上手に声掛けをするかが大切です。まずは子どもの行動に気づいてあげ、それを伝える。ほほ笑む。共感してあげる。ほめる。励ます。次の行動に誘う。

同じものを見て、指さしながら目を合わせて「これは〇〇だよ、きれいだね」と言って触らせたり音を聞いたり匂いをかがせるなど五感を使って会話する、気持ちを込めて絵本を読み聞かせ、語彙を増やすなど心がけてみてください。